

<良いところ>

A

B

C

活動・団体

<地域の活動>

- ・活動をしている人が多い。
- ・地域住民の行事が多い。(区レベル)
- ・民生委員が積極的に福祉に関わろうとしている。
- ・地域力が素晴らしい。
- ・家庭推進教育委員会の活動が活発。

<地域の団体>

- ・NPOの連携を考える組織体制がある。
- ・市民活動団体が多い。
- ・公園がたくさんあり花が楽しめる。(公園愛護会)

地域交流

<地域交流>

- ・3世代交流をしている。
- ・新しい人も多いが、ご近所とお話ができる。
- ・小学生のあいさつが必ずある。(おはよう)

高齢者福祉

<現状>

- ・高齢者福祉がよい。

<支援・活動>

- ・ほっとカフェが7箇所ある。
- ・ぷらっとホームが6箇所ある。

障害者福祉

<支援>

- ・障がい者の基幹の相談ができる窓口がある。

住民・地域の特徴

<現状>

- ・まあまあです。近所関係が言いにくい。
- ・あっさりしている。

生活環境

<自然>

- ・自然が多く、生活にうるおいが持てる。

<ゴミ>

- ・道路際等にゴミ捨てがない。
- ・ゴミだしのルールが確実に守られている。

人材

<若い世代>

- ・若い世代が多い。

子育て

<地域の活動>

- ・市民活動が多種多様である。
- ・市民の活動が盛んな方だと思います。
- ・民生委員の活動が活発。(コミュニティサロンなど)
- ・集会所を福祉活動の基地として拡充しています。

<地域の団体>

- ・NPOなどの団体がたくさんある。
- ・日進団地は“ふれあいサロン”、老人クラブ、女性の会、子ども会、自治会、民生委員の合同連絡会を設けて世代交流会等を備えています。

<地域交流>

- ・地域のつながりが残っている。
- ・あいさつ
- ・地域のお互いの顔が見えているほう。

<現状>

- ・高齢者の皆さん元気。

<支援・活動>

- ・ほっとカフェ、ぷらっとホームが少しずつ広まっている。
- ・お話しの会

<地域の活動>

- ・住民主体の活動が動きつつある。(例えばほっとカフェ)
- ・福祉実践教室を全ての小中高校で行っている。
- ・中学校で1年生全員へ認知症センター養成講座開催。

<地域の団体>

- ・小学校と地域を結ぶ家庭教育推進委員会がある。

<現状・資源>

- ・孤立死など聞いたことがない。
- ・高齢者虐待を聞いたことがない。

<支援・活動>

- ・気軽に集まる場所がある。(ぷらっとホーム)
- ・高齢者向けサロンがある。
- ・ぷらっとホーム設置。

交通

<支援・活動>

- ・障がいのある子が自分の通いたい学校に行ける。
- ・要訳筆記
- ・音訳
- ・障がい団体の活動が活発。

<現状>

- ・大学生がボランティアに入るときに受け入れ先の方の心が広い。
- ・西部、北部福祉会館を利用する人々が多い。

<自然>

- ・自然が残っている。(のどかな風景)
- ・自然に触れられる場がある。

<自然>

- ・街に緑が多い。

<ゴミ>

- ・ゴミ出しなどはスムーズにいっている。

<若い世代・大学>

- ・学生が多い。(大学が多数ある。)
- ・若い人が他の市町に比べて多い。
- ・市内の各大学、ボランティアを積極的に行っていている。
- ・大学(学校)が多い。=福祉の担い手が多い。

<若い世代・大学>

- ・大学VCのつながり、大学が多い。そもそもつながり始めている。

<全体人口>

- ・人口増加で将来発達(+)人材豊か。

<現状・資源>

- ・学童保育所が多くある。
- ・託児

<支援・活動>

- ・子育て世代にとって住みやすい。(物価、子育て支援、安全)

<現状>

- ・徘徊、行方不明を見たことがない。
- ・あまり、不良少年・少女を見かけない。

<支援・活動>

- ・徘徊用システムがある。
- ・子ども110番がある。

<現状・資源>

- ・くるりんバスがある。

A

B

C

活動・団体

<現状>

- ・自治会行事への参加減少傾向が強い。
- ・集会場の利用に住民差がある。
- ・活動場所が上手く借りられない。
- ・福祉を掲げながら特定の対象しか使えない施設。(空いているのに)

<現状>

- ・未だ老人の参加率が低い。
- ・地域行事の市民の参加が減った。(若者の参加)
- ・市民のボランティアに参加する仕組み。

地域交流

<現状>

- ・向う三軒両隣のつながりが弱い。
- ・世代の新旧住民の軋轢あり。

<現状>

- ・地域のつながりが薄いところが多くなった。
- ・各団体の活動は活発だが地域の中でのつながりが薄い。

<現状>

- ・住民のつながりが薄い。
- ・核家族の増加による隣近所の付き合いが少なくなる。
- ・コミュニティの希薄なところ。

高齢者福祉

<支援>

- ・障がい者の扶助料1ヶ月1000円カットには反対です。地方自治法第1条に反しています。
- ・扶助料が少ない。

<現状>

- ・高齢者のつながりがわからない。

障害者
福祉住民・地域
の特徴

<住民>

- ・自分に関わらないことは無関心。
- ・自己主張が強い。
- ・あっさりしている。
- ・手や口を出す、お節介さが足りない。

<地域>

- ・地域のまとまりにムラがある。
- ・地域の範囲がまちまち。

<住民>

- ・市民の自分の参画する意識。
- ・就労世代の社会参加(地域)。

<地域>

- ・急激な人口増加による核家族の増加。
- ・高齢者世帯が多い地域と少ない地域との落差がある。
- ・乱開発。団地が多い。

<住民>

- ・住民のプライド高い人が多い。
- ・市民の福祉意識が低い。地域差がある赤い羽根募金。

生活環境

<道路>

- ・歩道がなかったり、歩きづらいところが多い。
- ・歩道面の荒れがあり、ベビーカーが車道へ出る。
- ・夜道が暗い。危ない。

<その他>

- ・犬の糞が注意してもおさまらない。
- ・買い物が不便。

<施設>

- ・公民館の使い勝手が悪い。
- ・集会場では収容人数にかぎりがでる。

<街>

- ・気軽に集まる場所はあるが足りない。
- ・街の中心がはっきりしない

<自然>

- ・住民が増えるにつれ緑が減りつつある。

人材

<支援・活動>

- ・担い手が少ない。(やってくれない)
- ・世代交代が上手くいってない。文化、自治体、その他。
- ・自治活動をしている方が老齢化している。

<支援・活動>

- ・次世代の人材育成。
- ・養成講座はたくさん開かれているが、あまり集まっていない。
- ・活動の担い手を育てているだろうか?

<支援・活動>

- ・PTAや家推進等の役員のなり手が少ない。
- ・民生委員のなり手。

子育て

<支援・活動>

- ・子ども会加入者が減ってしまっている。
- ・子どもの遊び場に制約が多い。
- ・公園がユニバーサルデザイン(バリアフリー)になっていない。

<支援・活動>

- ・子ども会が減ってきた。
- ・学童保育所が足りない。(待機者がでている)
- ・学童スタッフの不足。

<支援・活動>

- ・徘徊システムはあるが平日の8:30~17:30に使用が限られている。

犯罪・事件

<交通>

- ・公共交通の便が悪い。

<交通>

- ・交通の便が悪い。
- ・交通手段が車しかない。(くるりんバスの便がマイナチ)
- ・車がなければ買い物ができない、公共交通が不十分。

<交通>

- ・交通が不便。

相談、窓口

<支援・情報提供・仕組み>

- ・困っていることはないが、もし困ったらどうすればいいか分からぬ。
- ・困っていることを言い出せるか…。
- ・色々あるがまとまりがない。(活動、相談窓口等)

<支援>

- ・複合的な相談を受けるところがない。(虐待、障害、生活に困っているなど)

<支援>

- ・認知症や精神疾患の相談窓口。

行政

<支援・情報提供・仕組み>

- ・市の福祉の支援ルールが多種あり、統一して欲しい。
- ・協働についての市役所と市民の考え方。
- ・縦割り行政は解消されているの?
- ・誰がやるのか、線引きがあやふや。

<現状>

- ・市民主体に行政がマッチしていない。

<支援・情報提供・仕組み>

- ・住民のニーズが拾えているかどうか。
- ・第1次と第3次との成果と課題がリンクしていない。

連携

<連携>

- ・大学と地域の連携。
- ・ボランティアやりたい人と求めている人がありマッチングしていない。
- ・各大学のボランティア団体が連携できていない。

<連携>

- ・医療と介護の連携。市民に情報開示。
- ・各施設間の横の連携少ない。